令和８年度環境保全計画書

生活協同組合コープこうべ

1. 環境保全計画書の記載範囲

生活協同組合コープこうべは、兵庫県下全域および大阪北摂地域、京都府京丹後市で事業を行っている組織であり、環境の重点取組目標・計画は全体で策定しております。そのため、以下の記載内容はコープこうべ全体の環境に係る取組計画となります。

2. 環境保全に関する基本方針（基本理念）

当生協では、SDGs の目標年・2030 年に向け、環境の取り組みを加速させることを目的に、環境チャレンジ目標を 2018 年に策定しました。



3. 重点取組目標・計画

(1) チャレンジ１「CO2 排出量を半減！」　（基準年：2013 年度　政府目標の基準年と同一）

2030 年の「CO2 半減」に向け、「CO2 削減ロードマップ」を策定し、取り組みを強化。

	2026 計画
1	①「CO_2削減ロードマップ」の策定・浸透を進め、各事業所での「削減アクション」等を促進。 ②「再エネ 100%事業所」（８事業所）について非化石証書付の電力供給に切り替え、「質の改善」を図る。
2	①宅配でのＡＩを活用したコースマネジメントにより、区域数を削減（目標：５区域／年）。連動して年間走行距離を削減し、消費燃料を抑制。 ②ＥＶトラックの導入等については、引き続き情報収集を継続。
3	①S&B・改装・設備更新の際、省エネ設備への切替えを促進（空調６店舗、LED21 店舗、冷ケース５店舗） ②ＫＣ箕面に設置した蓄電池の CO_2 削減効果の検証及び他事業所での展開を検討。

(2) チャレンジ 2「食品廃棄物を半減！」(基準年：2015 年度　SDGs の基準年と同一)

2030 年までの削減目標を新たに基準年（2015 年）比 60%に設定し、取り組みの深化を目指す。

	2026 計画
1	①食品残さ回収対象店舗を堅持。また、店舗業務の実態に合わせ、運用手順を見直すことで、既存店舗からの回収量増加を図る。 ②新たな取り組みとして「食品ロス発生ゼロ宣言」店舗の展開を検討。既存の食品残さ回収および地域団体への食品提供等を通じ、食品ロス発生「実質ゼロ」の店舗を選定し、取り組みの「見える化」を促進する。
2	（店舗事業） ①店舗物流 1/2 ルールへの移行および商品管理日数の考え方を変更し、消費期限・賞味期限当日まで供給し、廃棄ロスの削減を実現。（目標：年間ロス高 1.3 億円削減） ②「商品日付点検ツール」の導入を継続して検討。
3	４店舗で導入している消滅型生ごみ処理機「ＰＯＩＴＯ」の安定稼働を進め、店内で発生する生ごみの約８割削減をめざす。
4	魚崎浜、見津が丘の各集配センターで発生する余剰商品の有効活用を推進・強化。

(3) チャレンジ 3「プラスチック使用量を 25%削減！」(基準年：2017 年度)

2030 年までの使用量削減目標を 40%に設定し、取り組みの深化を目指す。

	2026 計画
1	商品の容器包装や店舗・宅配でのプラ容器資材（卵パック等）について、使用量削減（減量化・薄肉化等）施策を検討・実施。
2	（商品部） ①効果的な環境配慮型トレーの導入やノントレー商品をパック商品との併売展開に変更し、利用促進を強化。 ②詰め替え商品の品揃え継続
3	プラ原材料費価格の高騰を受け、容器包装以外のプラ製品についても、資源節約・有効活用・リサイクルの視点での広報・学習会を強化し、「マイバッグ運動ＮＥＸＴ」(「減らす」「増やす」「広める」) の推進を強化。

(4) チャレンジ 4「エシカルな商品やサービスの開発・供給推進！」

フードプラン 35 周年を機に、エシカルな商品の開発・供給促進を強化。

	2026 計画
1	（商品政策推進室） 「フードプラン 35 周年」を機にエシカルな商品の企画・供給を関係部署と連携強化して推進。 ①産地が抱える「今の課題」を伝え、「持続可能な食」について組合員・職員がともに考える機会を創出。 ②「とれしゃき」コーナーの売場の磨き上げによる認知度向上。 ③生鮮魚：兵庫県漁連との連携を深め産地の新規開拓 ④加工品：「焼魚・煮魚」「ひもの」「冷凍品」の新規導入促進 ⑤生鮮の冷凍商材、および CO・OP　ＮＥＸＴ100 商品の開発を進め、規格外原料・商品の利用を促進。 ⑥「寄付つき商品」の推進。例：「CF わかめ」３～６月、「CF もずく」「CO うなぎ」年間

2	（「コープでんき」） ①箸荷バイオガス発電所の本格稼働を機に、同発電所に関わる地域の関係者や消化液を通した多様な連携を伝える動画の作成に着手、施設見学会の開催と合わせて「コープでんき」の意義・理解の浸透を図る。 ②「コープでんき」の認知度向上をめざし、エコファームのソーラーシェアリングで栽培された野菜プレゼント企画を継続・強化。 ③めーむチラシ（年２回）にて、「コープでんき」の料金改定（値下げ）の告知および箸荷バイオガス発電所等の再エネ発電所の紹介を行い、離脱抑制と新規獲得につなげる。
3	「寄付機能付きペットボトル回収機」の設置（３店舗）、回収量に応じた地域団体への寄付金贈呈等を計画。
4	店舗での「羽毛の回収・リサイクル」を継続実施し、取り組み強化（ダウンジャケットの積極回収）を進める。
5	他団体・行政とともに、エシカル消費や脱炭素につながる商品の利用促進「減ＣＯ２（ゲンコツ）プロジェクト」を展開。
6	つめかえパックリサイクル（「神戸プラスチックＮＥＸＴ」）の学習会を開催し、取り組みを強化。

(5) チャレンジ５「組合員とともにエシカル消費・活動を拡大！」

エシカル・SDGs に関する取り組みを強化し、リアル・オンライン併用で取り組みを推進。

	2026 計画
1	（「紙つむぐプロジェクト」＝「玉津ラボ」を活用した再生紙プロジェクトの名称） ①コープこうべ内部（本部、各現場所属、子会社等）からの使用済コピー用紙回収量の増大施策を展開。 ②第２回「ハピネスアート・コンテスト」を通じたアップサイクル品の取り組みを強化。
2	子育てをテーマとした「地域つながるフォーラム 2026」を開催（10/3）し、子育て支援の輪を拡大。
3	（広報・学習会） ①エシカルや SDGs に関する講演会・学習会（オンライン含む）を強化、継続実施。 ②コープこうべの各 SNS アカウントを連携・有効活用し、エシカル消費の普及・浸透を図る。 ③エコファーム推進部との共催により、「コープでんき」契約者を対象としたソーラーシェアリングの見学・収穫体験会を企画（６/８）。
4	全Ｃ店にてフードドライブの常時受付を継続、店舗・宅配での集中取り組みを年２回（９月・１月）開催。
5	社家郷山の活動やコープこうべ環境基金、エシカルな商品の訴求等による生物多様性保全の取り組みを推進。
6	古紙めーむ・宅配内袋の返却の呼びかけ強化を実施。回収率向上を促進。
7	「ラジオ関西」にて環境の取り組み（「コープエコのはなし」）を毎月放送。
8	（職員研修「ま Navi」を通じた社会課題の理解促進） ①SDGs 関連映画の視聴・学習企画「シネマ de SDGs」を継続開催、外部講師を招いた特別講演会の実施。 ②エコファーム野菜プレゼント企画の援農作業を通し、「コープでんき」の理解を促進。

以上